

トリニダット・トバゴ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 0	0.39
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 0.65	11.16
	研修員受入	(人) 2(新規)+0(継続)	54
	専門家派遣	(人) 2(新規)+2(継続)	18
	調査団派遣	(人) 4(新規)+0(継続)	104
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	27
	開発調査	(件) 0	3
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対トリニダット・トバゴODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 1.18 (100%)

ウルグアイ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 0.49	5.33
有償資金協力		(億円) 0	71.66
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 5.04	69.06
	研修員受入	(人) 45(新規)+ 1(継続)	547
	専門家派遣	(人) 22(新規)+12(継続)	256
	調査団派遣	(人) 13(新規)+ 0(継続)	369
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+ 0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 12.54	159.48
	開発調査	(件) 0	8
	プロジェクト方式技術協力	(件) 2	7

わが国の対ウルグアイODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 0.45 (4.6%)	技術協力 6.22 (63.1%)	政府貸付等 3.19 (32.3%)
--------------------	-------------------------	--------------------------

スリナム/トリニダット・トバゴ/ウルグアイ◎中南米

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
林木育種 (当初F/D協力期間) 93.3.10~98.3.9	91	事前調査	94年度までの 累 計	9	3	92,800
	92	実施協議		95年度	新規	6
	93	計画打合せ	3			
	95	巡回指導				20,473
<p><要請背景></p> <p>ウルグアイは、これまで農牧業の振興を重点政策としてきたため、林業の歴史は浅く、森林率も国土面積の5%以下と極端に低い。</p> <p>近年、民間企業が大規模な人工造林を進めており、また政府も造林政策を推進している。しかし、優良人工林造成に不可欠な林木育種は進んでおらず、採種圃もたない状況にある。</p> <p>こうした状況に対応するため、ウルグアイ政府は、早急に優良種子生産体制を整備する必要に迫られており、採種圃造成技術をはじめとした林木育種研究を目的とする技術協力をわが国に要請した。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>林木育種を推進することにより、国産優良種子生産体制を確立し、材木の生産性と品質の向上および環境保全の推進に寄与するため、次の基礎技術を開発する。</p> <p>(1) 既存人工林を材料とした育種技術の開発 (2) 原産地からの種子導入による育種技術の開発</p> <p><協力活動内容></p> <p>(1) 採種林の選定による育種 (2) プラス木の選抜による育種 (3) 増殖技術の開発 (4) 産地試験地の造成</p>						
果樹保護技術改善計画 (当初F/D協力期間) 95.3.1~2000.2.29	94	事前調査	94年度までの 累 計	7	1	2,918
	94	長期調査		95年度	新規	3
	94	実施協議	4			
	95	計画打合せ				52,739
<p><要請背景></p> <p>ウルグアイの果樹栽培において柑橘は重要な位置を占めており、ウルグアイ政府もその振興に努めている。その結果、柑橘栽培面積は果樹の総栽培面積の46%にまで増加したが、生産者の柑橘栽培技術は未熟であり、また同国で柑橘に関する研究を行っている国立農牧研究所(INIA)サルトグランデ試験場も十分な技術力、研究能力を有していないため、果実の品質問題などが障害となり、生産者の営農基盤を強化させるには至っていない。そこで、ウルグアイ政府は、INIAの研究能力を向上させ、柑橘生産者の営農基盤を安定させるために、1991年8月にプロジェクト方式技術協力をわが国に要請してきた。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>柑橘栽培の植物保護に関連した主要問題について実用可能な対策を開発するとともに、病虫害対策および栽培管理の問題を解決できるようINIAの研究能力を強化する。それにより、INIAが同国の柑橘</p>						

栽培に資する研究活動を実施できるようになる。

<協力活動内容>

柑橘の果実品質に関係する主要問題に対して、次の分野で調査・分析、対策開発の研究を行う。

- (1) 病害防除
 - ①病原菌による病害
 - ②ウイルスおよびウイルス性病害
- (2) 虫害防除
 - ①主要害虫の発生予察
 - ②総合防除
- (3) 栽培管理
 - ①栽培技術の改善
 - ②施肥と灌水

● 鉱工業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
製材品試験用機材	一式	826	工業・エネルギー・鉱業省 ウルグアイ技術研究所	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入
品質管理普及用機材	一式	11,711	工業・エネルギー・鉱業省 工業技術生産性センター	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

ヴェネズエラ◎中南米

ヴェネズエラ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 0.47	3.88
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 4.42	54.21
	研修員受入	(人) 64(新規)+10(継続)	710
	専門家派遣	(人) 8(新規)+4(継続)	192
	調査団派遣	(人) 24(新規)+0(継続)	297
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 51.53	276.53
	開発調査	(件) 1	12
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	1

わが国の対ヴェネズエラODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	0.44
技術協力	5.76
政府貸付等	-0.07

● 計画・行政分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
環境保全用機材	一式	3,646	環境天然資源省アラグア地方建設局	小規模単独機材	専門家派遣

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ツイ川上・中流域環境改善計画	<p>ヴェネズエラ政府の要請に基づき、カラカス首都圏への重要な飲料水供給源であるツイ川に関して流域の水質汚濁源等を調査し、水質改善等による飲料水の確保および河川環境の改善を図るために上・中流域を対象とした緊急対策および中期計画の2段階からなるマスタープランを策定し、そのなかで選定された緊急対策(優先)プロジェクトについてフィージビリティ調査を実施する。1995年度は、既存資料の収集・整理・分析により、対象地域の自然・社会・経済現況、関連組織・制度、既存プロジェクトの現況を把握し、また、現地踏査、実証調査などによりツイ川流域の汚濁源、水質、流況、水利用の現況把握と問題点の抽出を行い、あわせて汚濁負荷予測を行った。これらをもとに、緊急対策、および中期計画の2段階からなるマスタープラン策定のため、水質・水量目標の設定と技術的方策、組織制度的方策、モニタリング体制などの検討を行い、優先プロジェクト候補を選定し、中間報告書に取りまとめた。優先プロジェクトについては、先方の運営委員会との協議により確定させ、また、その初期環境調査を実施した。</p>	<p>環境・天然資源省 ツイ川流域管理事業団</p>	<p>(株)建設技術研究所 国際航業(株)</p>

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
土石流予警報用機材	一式	47,886	環境・天然資源省	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

● 農林・水産分野 ●

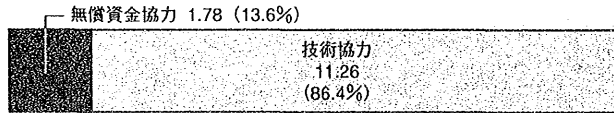
開発協力事業

● 専門家派遣			
プロジェクト名	派遣期間	人数	技術指導内容
リンゴ栽培試験事業	96.2.14~96.4.15	1	リンゴ栽培技術

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		6.67	84.94
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	9.64	112.39
	研修員受入 (人)	91(新規)+6(継続)	874
	専門家派遣 (人)	13(新規)+5(継続)	209
	調査団派遣 (人)	44(新規)+5(継続)	443
	協力隊派遣 (人)	20(新規)+32(継続)	165
	単独機材供与 (100万円)	8.02	516.48
	開発調査 (件)	4	9
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	2

わが国の対フィジーODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ヴィティ・レヴ島河川流域対策・洪水制御計画	南太平洋の島嶼国であるフィジーは年間を通じて雨量が多く、特に1993年の「キナ」に代表されるサイクロンの襲来により、河川地域を中心に大きな洪水被害を受けてきた。また、過度の森林伐採による土壌流出が洪水被害拡大の要因にもなっていることから、水源一貫の考え方に基づく河川流域管理の必要性が高まっている。この調査では、フィジー最大のヴィティ・レヴ島の主要4河川(ナンディ、シンガトカ、パ、レワ)の流域を対象に、河川流域管理および洪水制御のためのマスタープランを策定するとともに、優先プロジェクトのフィジビリティ調査を実施する。95年度は、2月に事前調査を実施し、フィジー政府との協議および現地踏査等の結果を踏まえ、96年度に開始予定の本格調査の内容、範囲等を定めた実施細則の署名・交換を行った。	農業・水産業・森林省	

ヴィティ・レヴ島北部地 下水開発計画	ヴィティ・レヴ島北部(人口8万8522人、1986年時点)の水供給は、ほとんど表流水に依存しているため、毎年乾期(5～11月)には深刻な水不足および旱魃に見舞われ、地下水開発は急務となっている。本件は、フィジー政府の要請に基づき、ヴィティ・レヴ島北部を対象とし、生活用水確保等を目的とした地下水開発および給水計画を策定するものである。95年度は、次の2点を実施した。①フィジー側からのコメントをもとに最終報告書を作成し、提出した。②フィジー側がカウンターパート機関で保有し、本件調査で使用したボーリング用機材のシリンダー内部およびスイベルヘッド部分を修理し、正常に使用できる状態にした。	エネルギー・ 鉱物資源省 鉱物資源局	日本工営(株) 日鉱探開(株)
北部ラウ諸島海域海図作成調査	北部ラウ諸島地域の海図は、その大半が1883年に実施した測量を基礎として作成されたものであり、正確さに欠け信頼性の乏しいものである。このため、同地域の海洋資源開発促進、海難防止、海洋資源保護の観点から、海図の整備が必須かつ緊急の課題となっている。本件は、北部ラウ諸島を対象に海図を作成するとともに、あわせてフィジーの海図整備計画を策定するものである。1995年度は、第1回(海図番号:F52)作成に必要な測量を実施し、その結果を測量原図として取りまとめた。	海事局水路部	朝日航洋(株) アジア航測(株)

.....
無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
気象観測・予報設備整備 計画	気象局	(株)日本気象協 会	95	5.81	95.6.12		
フィジーは、サイクロンの頻繁な襲来によって多大な人命、財産の損失を被っているため、現在、不十分となっている気象局の気象台施設および観測・通信システムを整備するとともに、地域特別気象センターを建設し、高層気象観測受信・解析装置などの気象観測・予報用機材を整備する。							

フィジー◎大洋州

◎ 鉱工業分野 ◎

.....
機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
精密測定用機材	一式	3,181	教育婦人文化科学技術省フ ィジー技術学院	小規模単独機 材	専門家派遣 研修員受入

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ヴァヌアツレブ資源開発協力基礎調査	ヴァヌアツレブ島において金、銀、銅、鉛、亜鉛を対象とした新鉱床の探査を行う。1995年度は、既存データ解析を行い、ボーリングも実施した結果、ナコロウタリ地区(鉱化変質帯中央部で鉱化、高比抵抗異常、高IP異常を確認)、ダクニンバ地区(全長2 km以上の石英脈が地区中央に存在)、ワイモツ・コロイナツロ地区(金品位数g/t前後の石英脈数条が認められる)が有望地区として抽出された。	エネルギー・鉱物資源省鉱物資源局	日鉱探開(株)

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
コンピューター訓練用機材	一式	4,844	人事院政府訓練センター	小規模単独機材	専門家派遣

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
南太平洋大学海洋研究施設整備計画	農業・水産業・森林省水産局	水産エンジニアリング(株)				95.8(本) 95.11(報)	
フィジーの首都スヴァにある国際機関、南太平洋大学海洋研究施設を整備する。							

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		2.15	76.35
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.09	28.05
	研修員受入 (人)	16(新規)+2(継続)	151
	専門家派遣 (人)	1(新規)+0(継続)	18
	調査団派遣 (人)	14(新規)+0(継続)	149
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	50
	開発調査 (件)	0	4
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対キリバスODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 1.48 (37.7%)	技術協力 2.44 (62.3%)
---------------------------	-------------------------

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
第3次離島漁業振興計画	天然資源開発 省	水産エンジニ アリング㈱	95	2.09	95.6.26		
<p>キリバスの離島地域で現金収入を得ることができるとして漁業が注目されるようになったため、小規模沿岸漁業のための荷さばき場、ワークショップなどを備えた施設を建設するとともに、漁船、製氷機などの関係機材を購入する。</p>							

キリバス◎大洋州

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
KGV/EBS 中学校整備計画	文部省	㈱福永設計 ㈱レーモンド 設計事務所				95.7(事) 95.11(本) 96.2(報)	
<p>キリバス唯一の公立中学校KGV/EBS中学校の老朽化した施設、教育機材を整備し、同国の中等教育の質的改善を図る。</p>							

マーシャル諸島

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		10.56	73.36
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.43	8.11
	研修員受入 (人)	10(新規) + 0(継続)	64
	専門家派遣 (人)	1(新規) + 0(継続)	3
	調査団派遣 (人)	5(新規) + 0(継続)	104
	協力隊派遣 (人)	8(新規) + 11(継続)	25
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対マーシャル諸島ODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 3.86 (71.8%)	技術協力 1.51 (28.2%)
---------------------------	-------------------------

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
第2次離島水産物流通改善計画	資源開発省 海洋資源局	CRC 海外協力 力関	95	4.53	96.2.20	95.9(本)	
<p>マーシャル諸島第2の都市イバイを中心とした3環礁の漁業を振興し、イバイへの鮮魚供給の安定化、供給量の増大を図るため、販売施設、漁業支援施設を建設し、漁船、船外機、漁具などの機材を整備する。</p>							

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
マーシャル高校改善計画	文部省	システム科学 コンサルタン ツ関	95	6.00	95.6.9		
<p>マーシャル諸島の首都マジュロの唯一の公立高校である同校では、施設や機材の老朽化が著しく、また教室数も不足している。一方、青少年の健全な育成のための社会教育施設も十分整備されていないため、教育・文化センターを建設するとともに、職業教育用機材を整備する。</p>							

ミクロネシア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		2.17	94.95
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	2.52	23.37
	研修員受入 (人)	18(新規) + 1(継続)	133
	専門家派遣 (人)	0(新規) + 0(継続)	49
	調査団派遣 (人)	1(新規) + 0(継続)	159
	協力隊派遣 (人)	10(新規) + 32(継続)	91
	単独機材供与 (100万円)	0.57	26.46
	開発調査 (件)	0	0
プロジェクト方式技術協力 (件)		0	1

わが国対ミクロネシアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 11.42 (66.7%)	技術協力 5.71 (33.3%)
----------------------------	-------------------------

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ヤップ州小規模漁業振興 計画	ヤップ州資源 開発局	オーバースー ズアグロフィ ッシャリーズ コンサルタン ツ附	95	2.16	96.3.29	95.11(本)	
<p>ミクロネシアのヤップ州では、経済基盤の強化、急激な人口増加に対応した雇用の創出、需要に対応できる食糧の増産・食糧自給体制の確立などを目標とし、小規模漁業の振興に積極的に取り組んでいることから、ヤップ本島西部港およびファラロップ島での漁業支援施設の建設、およびヤップ本島コロニア地区への製氷機、氷運搬車、保冷箱等の機材を供与する。</p>							

● その他の分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
栄養改善実習用機材	一式	570	ポンペイ州資源保護監督局 農業課	WID関連特別 機材	協力隊派遣

マーシャル諸島/ミクロネシア◎大洋州

ナウル

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
J I C A 技 術 協 力 実 績	技術協力経費 (億円)	0.12	0.36
	研修員受入 (人)	4(新規)+0(継続)	26
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対ナウルODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.35 (100%)

パラオ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		3.78	56.37
有償資金協力 (億円)		0	0
J I C A 技 術 協 力 実 績	技術協力経費 (億円)	0.22	3.65
	研修員受入 (人)	9(新規)+1(継続)	47
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	4
	調査団派遣 (人)	3(新規)+0(継続)	75
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	42
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対パラオODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 7.84 (67.7%)	技術協力 1.10 (12.3%)
---------------------------	-------------------------

パプア・ニューギニア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		16.46	187.29
有償資金協力 (億円)		43.09	568.35
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	7.21	114.00
	研修員受入 (人)	117(新規)+15(継続)	1,256
	専門家派遣 (人)	9(新規)+3(継続)	155
	調査団派遣 (人)	26(新規)+0(継続)	642
	協力隊派遣 (人)	16(新規)+40(継続)	252
	単独機材供与 (100万円)	1.03	282.26
	開発調査 (件)	0	10
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	2

わが国の対パプア・ニューギニアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	技術協力	政府員派遣
27.01 (62.3%)	8.14 (18.8%)	8.22 (18.9%)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
新ラバウル(トクア)空港 緊急整備計画(詳細設計)	運輸省	日本工営㈱	95	0.60	96.1.23	95.8(本) 95.10(報)	
1994年9月、ラバウル近郊の火山噴火により使用不可能となったラバウル空港の代替空港として緊急整備された新ラバウル空港は、設備が不十分で利便性・安全性に問題があるため、同空港の緊急整備計画を策定する。							

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
小型漁船の船体・機関保守用機材	一式	1,033	教育省 パプア・ニューギニア大学 理学部	小規模単独機材	研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態		専 門 家 派 遣 (人)	カ ウ ン タ ー パ ー ト 受 入 (人)	機 材 供 与 (千 円)	
森林研究計画(II) (当初R/D協力期間) 95.4.1~2000.3.31	93	事前調査 計画打合せ	94年度までの 累 計		5	0	30,000
			95年度	新規	5	2	11,984
	継続	0		0			

<要請背景>

パプア・ニューギニア政府は、1993年から森林研究所の活動計画を全面的に見直し、森林研究所における森林および林業の研究に関する今後の展開を取りまとめた。そのなかでわが国が協力した森林研究計画プロジェクトの活動が高く評価されたため、パプア・ニューギニアにおける持続的森林開発のための研究を目的として研究協力の継続を要請してきた。

<目標と期待される成果>

パプア・ニューギニアの持続的森林資源開発のための試験・研究を行うことにより、森林研究所の研究水準の向上を図る。

<協力活動内容>

- (1) 持続的天然林経営のための基本技術と研究能力が向上する。
 - ①天然林の樹種同定に関する研究を行う。
 - ②造林技術に関する研究を行う。
 - ③森林経営と土壌および水分状態に関する研究を行う。
- (2) 持続的人工林経営のための効果的な技術と研究能力が向上する。
 - ①適応樹種に関する研究、試験を行う。
 - ②林木育種に関する研究を行う。

開発協力事業

◎ 研修員受入			
研修コース名 (または研修科目名)	研 修 期 間	人 数	関 連 プ ロ ジ ェ ク ト 名
森林保全	95.10.10~95.11.30	2	ホスキンス試験的造林事業

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
地方病院改修計画	保健省 当該病院		90	17.84			96.3(F/U)
			91	2.77			
			91	15.71			
			92	16.44			
<p>(1) 本体：パプア・ニューギニアの地方医療の改善を目的として、11カ所(ウェワク、マウントハーゲン、ラエ、ノンガ、クンディアワ、ワバダ、ケレマ、ダル、マダング、パニモ、ラバウル)の病院の改修を行う。</p> <p>(2) フォローアップ協力：フォローアップ調査を行う。</p>							

● ソロモン諸島

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 13.40	97.20
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術 協力 実績	技術協力経費	(億円) 6.65	49.36
	研修員受入	(人) 27(新規)+1(継続)	266
	専門家派遣	(人) 9(新規)+11(継続)	79
	調査団派遣	(人) 37(新規)+0(継続)	282
	協力隊派遣	(人) 19(新規)+45(継続)	187
	単独機材供与	(100万円) 0	84
	開発調査	(件) 0	5
プロジェクト方式技術協力		(件) 1	1

わが国の対ソロモン諸島ODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	10.43
技術協力	7.51
政府貸付等	-1.83

● 計画・行政分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
消防機材整備計画	警察・国家保 安省	(株)日本国際協 力システム	94	0.59	95.3.28		95.5(実)
急速な都市化で人口が増大する都市に消防自動車を供与する。							

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ノロ地区漁業開発計画	農業水産省水 産局	(株)日本国際協 力システム	94	2.24	95.4.11		95.5(実)
コンテナヤード拡張および冷蔵庫の利用稼働率向上のための機材の整備を行う。							
ヘンダーソン国際空港整 備計画(詳細設計)	文化観光航空 省民間航空局	(株)パシフィッ クコンサルタ ンツインター ナショナル	95	0.79	95.11.15	95.4(本) 95.8(報)	
ソロモン諸島唯一の国際空港であるヘンダーソン空港は、現在就航中の航空機に対応できず、旅客の取り扱いに混乱を来しているほか、空港運営上、安全面でも支障を来している。このため同国が策定した「ヘンダーソン国際空港整備計画」に関する詳細設計を行う。							
ホニアラ市給水改善計画	ソロモン諸島 水道公社	(株)パシフィッ クコンサルタ ンツインター ナショナル				96.2(本)	
人口の急増および給水施設の老朽化により、ホニアラ市では給水需要に対応できていない。さらに主水源が枯渇し給水事情が深刻な状況にあるため、給水施設のリハビリおよび建設を行う。							

ソロモン諸島◎大洋州

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ホニアラ中央市場整備計 画	農業水産省水 産局 ホニアラ市	CRC 海外協 力隊	95	7.85	95.12.27	95.6(本) 95.9(報)	
<p>ソロモン諸島の首都最大の公設市場であるホニアラ中央市場の機能・施設が未整備であるため、同市場のマーケットホールや市場管理棟などの市場施設を建設し、貯氷設備、空調保冷設備などの機材を整備する。</p>							

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態			専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
プライマリー・ヘルスケア 推進 (当初R/D協力期間) 91.9.1~96.8.31	88	予備調査	94年度までの 累 計		38	9	116,671
	90	事前調査					
	90	長期調査	95年度		9	2	
	91	実施協議					
	93	巡回指導					
	94	巡回指導					
95	終了時評価	新規	8	0	50,401		

<要請背景>
 ソロモン諸島においては、感染症を中心とした各種疾患により、多くの国民の健康が損なわれている。
 同国政府は、重要政策のひとつとして、またWHOなどの国際機関やオーストラリアなどからの二国間による援助を受けつつ、これに対する対策に取り組んでいる。しかし、技術、人材および資金が著しく不足していること、また、多数の島々からなる島嶼国であることなどから、保健医療水準が容易に向上し得ない状況にある。
 このような背景から、同国政府は1989年、わが国に対して公衆衛生分野の開発を目的としたプロジェクト方式による技術協力を要請してきた。

<目標と期待される成果>
 主として既存の諸保健医療活動を強化する方向で、プライマリー・ヘルスケアのアプローチによる
 ①ヘルスシステムの強化、②人的資源の強化、③健康教育を通じたコミュニティーレベルでの国民の健康増進を図る。

<協力活動内容>
 プライマリー・ヘルスケアの考えに基づいた、マラリア、結核対策および地域に根ざした保健医療教育における人材養成を行う。

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 8.02	84.75
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 7.03	43.65
	研修員受入	(人) 32(新規) + 1(継続)	217
	専門家派遣	(人) 5(新規) + 7(継続)	65
	調査団派遣	(人) 25(新規) + 0(継続)	192
	協力隊派遣	(人) 12(新規) + 15(継続)	149
	単独機材供与	(100万円) 28.97	233.68
	開発調査	(件) 1	2
プロジェクト方式技術協力		(件) 1	2

わが国の対トンガODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 7.06 (52.3%)	技術協力 6.44 (47.7%)
---------------------------	-------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
トンガタブ島道路改良計 画	公共事業省	楠片平エンジ ニアリング・ インターナシ ヨナル	95	7.93	95.6.16		
<p>トンガ最大の島であるトンガタブ島の道路整備が不十分で、農業および観光産業の発展に支障を来しているため、道路改良を行うため、油圧ショベルをはじめとする道路維持管理用機材を整備する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態		専 門 家 派 遣 (人)	カ ン ター パ ー ト 受 入 (人)	機 材 供 与 (千 円)	
水産増殖研究開発計画 (当初R/D協力期間) 91.10.2~96.10.1	90	長期調査 プロジェクト 形成調査	94年度までの 累 計	20	50	96,691	
	90						
	91	95年度	新規	3	2	18,682	
	91						事前調査 実施協議
	92						計画打合せ
	94						巡回指導
95	終了時評価	継続	5	1			

<要請背景>
 トンガ政府は、国民の重要な動物性たんぱくの供給源となっているリーフ(珊瑚礁)内漁業資源の管理および維持増大を図るため、無償資金協力で建設された水産研究センターを拠点としたプロジェクト方式技術協力をわが国に要請してきた。

<目標と期待される成果>
 有用魚介類の増養殖技術開発および水産資源管理の基礎技術を移転することにより、水産研究センターの養殖・資源管理研究能力を強化する。

<協力活動内容>
 (1) 有用魚類(ボラ、アイゴ、ミルクフィッシュ)の資源について分布、産卵時期、季節的出現、成長度など生物学的・生態学的研究を行う。
 (2) 有用魚類の天然種苗採捕のための適切な手法を開発する。
 (3) 有用魚類の水槽内での中間育成、囲い網養殖に関する研究を行う。
 (4) ボラ類の水槽内での中間育成、囲い網養殖の経済的可能性に関する研究を行う。
 (5) 有用貝類の生息環境および資源状況の調査を行う。
 (6) 有用貝類の資源増殖に関する実験を行う。
 (7) 有用貝類の放流のための生息環境調査を行う。
 (8) 有用貝類(シャコガイ、タカセガイなど)の放流実験を行う。
 (9) 資源増殖手法確立のための放流後の追跡調査を行う。
 (10) 有用貝類の水産統計調査とその整備を行う。
 (11) 資源管理のための資源評価調査を行う。

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
南太平洋諸国沿岸海域(トンガ王国海域)海洋資源調査	深海調査船「第2白嶺丸」を用いて、音響調査、サンプル採集および海底観察等を実施し、鉱物資源の賦存状況を把握する。1995年度は、海底熱水鉱床を対象として海底地形調査、海底視察、サンプリング等の鉱床調査を実施し、さらに細かい地域での岩石、堆積物のサンプリングを実施したが、めだった成果は得られなかった。	南太平洋応用地球科学委員会(SOPAC)	深海資源開発(株)

● 人的資源分野 ●

.....
 機材供与事業

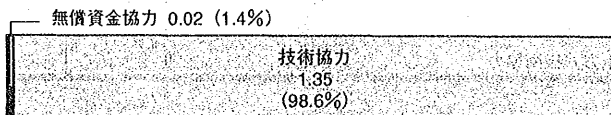
案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
コンピューターネットワ ーク訓練用機材	一式	3,451	教育省公共訓練センター	小規模単独機材	専門家派遣
情報処理技術訓練用機材	一式	25,523	教育省コンピューター訓練 センター	一般単独機材	専門家派遣

トウヴァル

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		5.47	17.57
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.30	8.03
	研修員受入 (人)	8(新規)+2(継続)	44
	専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	5
	調査団派遣 (人)	3(新規)+0(継続)	29
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	21
	開発調査 (件)	0	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対トウヴァルODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



トウヴァル◎大洋州

● 公共・公益事業分野 ●

.....
 無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
漁港災害復旧計画	天然資源開発 省水産局	(株)日本テトラ ポッド	95	5.43	95.11.30		
漁船用岸壁、スリップウェイおよび水路の復旧・改修などを行う。							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
漁村開発計画	天然資源開発 省水産局		87	1.58			95.4(F/U)
			88	1.07			
			89	1.46			
			91	3.96			
(1) 本体：水産資源開発のための漁民訓練に使用する漁具、沿岸漁業訓練船等を調達する。 (2) フォローアップ協力：不具合を生じている供与施設機材の現況およびフォローアップ必要性検討のための調査を実施する。							

● **ヴァヌアツ**

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 1.44	53.66
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力 実績	技術協力経費	(億円) 2.27	17.34
	研修員受入	(人) 17(新規) + 1(継続)	109
	専門家派遣	(人) 1(新規) + 2(継続)	15
	調査団派遣	(人) 6(新規) + 1(継続)	115
	協力隊派遣	(人) 7(新規) + 14(継続)	47
	単独機材供与	(100万円) 0	46.67
	開発調査	(件) 0	1
プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0	

わが国の対ヴァヌアツODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	9.71
技術協力	2.46
政府貸付等	-0.11

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ゴミ処理機材改善計画	国家計画局 内務省地方局 ポートヴィラ 市 ルガンヴィル 市	(株)パシフィック コンサルタ ンツインター ナショナル	95	1.44	96.4.26	96.1(本)	
首都およびその近郊のゴミ処理システムを改善するために、必要な機材の調達を行う。							

西サモア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 10.92	139.50
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 4.73	47.28
	研修員受入	(人) 30(新規) + 2(継続)	249
	専門家派遣	(人) 8(新規) + 4(継続)	34
	調査団派遣	(人) 6(新規) + 0(継続)	174
	協力隊派遣	(人) 20(新規) + 29(継続)	279
	単独機材供与	(100万円) 59.46	194.13
	開発調査	(件) 0	2
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対西サモアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 8.67 (65.1%)	技術協力 5.08 (36.9%)
---------------------------	-------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
船舶保守訓練用機材	一式	33,680	船舶公社	一般単独機材	専門家派遣
電気通信用機材	一式	21,740	郵便省郵便庁	一般単独機材	協力隊派遣

ウアヌアツ/西サモア◎大洋州

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
アピア港改修計画	運輸省		88 89	6.90 9.13			95.7 (F/U)
<p>(1) 本体：西サモアの外貨貨物取り扱いをほぼ一手に担うアピア港の老朽化した設備の整備の実施。 (2) フォローアップ協力：上述の協力で調達されたタグボートに関し、活用状況を調査し必要なスペアパーツを確定する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
家畜検査・診療用機材	一式	3,794	農林水産省畜産局アニマルヘルス部	小規模単独機材	協力隊派遣

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
電子工学職業訓練用機材	一式	250	西サモア職業訓練学校	一般単独機材	専門家派遣

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
国立大学拡充計画	教育省	㈱山下設計	95	17.22	95.5.12		
<p>西サモア唯一の国立大学であるサモア国立大学の組織、施設、機材が不足し、進学希望者の増加に対応することができないことから、同大学の専用キャンパスおよび施設の建設ならびに教育関連機材等の整備を行う。</p>							

クック諸島

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 0	0.50
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 0.13	5.04
	研修員受入	(人) 6(新規)+0(継続)	49
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	18
	調査団派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	38
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	0
	開発調査	(件) 0	3
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対クック諸島ODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 0.4 (75.4%)	技術協力 0.13 (24.6%)
--------------------------	-------------------------

ニウエ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
技術協力経費		(億円) 0.08	0.45
JICA 技術協力実績	研修員受入	(人) 2(新規)+0(継続)	28
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	0
	開発調査	(件) 0	0
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対ニウエODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.06 (100%)

クック諸島／ニウエ◎大洋州

米領太平洋諸島

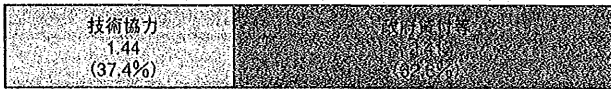
(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0	0.04
	研修員受入 (人)	0(新規)+0(継続)	5
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	1(新規)+0(継続)	6
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0	1.00
有償資金協力 (億円)		16.81	38.47
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.63	2.51
	研修員受入 (人)	11(新規)+0(継続)	31
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	15(新規)+0(継続)	19
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	2	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対アルバニアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ティラナ首都圏下水道整備計画	ティラナ市の下水道は、既存の施設の老朽化、破損がみられるほか、下水処理場がないことによる汚水の河川への直接放流や、体系的な管渠の欠如、また、受益者負担の料金体系も確立されていない(現状は、国家予算による下水処理)など問題を抱えている。さらに、下水管内の汚泥の沈殿、汚水の給水管への混入による水系伝染病等も指摘されているため、アルバニアのティラナ首都圏(人口40~50万人)の区域を対象とし、2010年を目標年次とする下水道整備計画のフィージビリティ調査を実施するものである。1995年度は、資源分析、問題点の抽出等を行ったのち、基本計画を策定し、下水道施設の代替案を検討した。また、下水道事業運営体の組織、経営に関する計画もあわせて検討し、これらを最終報告書案にまとめた。	建設・観光省	日本上下水道設計㈱ 監査法人トーマツ

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
シュベニック地域資源開発協力基礎調査	各種調査によって高品位の新規クロム鉱床の賦存状況を把握する。1995年度は、衛星画像解析、既存データ解析および地質調査を行い、鉱床、地質構造の関連を明らかにし、埋蔵量の確認もできた。特に、ビスカッシュおよびコトディシュの両鉱床周辺で実施した地上磁気探査は既存鉱床をよくとらえており、同手法が有効であることが判明したと同時に、新たに有望地区3カ所が抽出された。	アルバニア地質調査所	住鉱コンサルタント(株)

○ アルメニア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.04	0.15
	研修員受入 (人)	4(新規)+0(継続)	10
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対アルメニアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.06 (100%)
